日 立 ニ ュ ー ス

第12図　14型2スピーカテレビ"スザンナ"FY-360

また電源点滅は"ワンタッチ"スイッチ方式でイヤホーンつき，リモコンも取付けられるデラックス設計である。

真空管には超高感度の日立HHシリーズ2本を使用，ブラウン管には3割も明るい"ネオ・ブライト・ビジョン"を採用しているのは日立テレビのほかの機種と同様である。

価格はイヤホーン1個および脚つき，リモコン別で現金正価62,500円，月賦正価65,900円（12箇月の場合）である。リモコンCW-30は別売でイヤホーン2個つき，現金正価3,200円である。

おもな規格は次のとおり

規　　格

受信チャンネル……1～12チャンネル
使用真空管……16球（ブラウン管を含む）
使用ブラウン管……日立14RP4A（S）（メタルバック90度偏向，ネオ・ブライト・ビジョン）
音声出力……1.5W
使用電源・電力……100V 50/60c/s（110V切換つき）115W
スピーカ……16センチ低音用スピーカ　1個
12センチ中高音用スピーカ　1個
外形寸法・重量……幅54cm　高さ38cm（脚付72cm）奥行44cm　約24kg

2バンド8石オールウェーブ "ケリー" WH-825

このほど日立製作所から小形軽量でしかも高性能を誇る"2バンド8石オールウェーブ""ケリー"WH-825が発売された。

本機は局部発振と周波数混合部にそれぞれ"ドリフトトランジスタ"を使った高感度，高選択度設計になっており，さらに低周波3段増幅の高出力回路で遠くの放送も豊かな音色で楽しむことができる高級トランジスターラジオである。

特にこのセットには実用新案出願中の"トランジスター検波方式"がとりいれられており，このため雑音は今までの約½に軽減され，放送局の近くなどの電波が強すぎるところでも音がわれたりすることがなく，いつも安定した最良の受信状態できくことができる。

電池は単3号乾電池を3本使用，1日約3時間の聴取で1箇月以上きくことができる。

キャビネットは耐衝撃性の高級プラスチックの本体に前面パンチングメタルの優美なデザインである。大きさは幅140mm，高さ86mm，奥行35mm，重さ450g（電池とも）で，この種の2バンド8石では，最も小形になっており，携帯にもきわめて便利である。

価格は，現金正価11,300円，月賦正価12,300円でいずれも高級皮ケース，イヤホーン，電池付きである。

なお，キャビネットの色にはコーラル，グレー，ブラックの3種があり，好みの色を選ぶことができる。

第13図　2バンド8石オールウェーブ"ケリー"WH-825

規　　格

回路方式…2バンド8石スーパーヘテロダイン
受信周波数帯……標準放送（BC）535～1,605kc
短波放送（SW）3.8～12Mc
使用石（日立トランジスタ）……HJ71　局部発信
HJ72　周波数混合
2N218　中間周波増幅第1段
2N218　中間周波増幅第2段
2N218　検波低周波増幅第1段　自動感度調節（AGC）
2N215　低周波増幅第2段
2N217, 2N217　電力増幅（B級プッシュプル結合）
（日立ゲルマニウムダイオード）　1N34A　検波自動音量調節
（日立バリスター）　HV-15　温度，電圧補償
出力…120mW（無ひずみ）170mW（最大）
電源……4.5V（単3号または特単3号乾電池3個）
スピーカー……6.5センチパーマネント・ダイナミック形

日 立 ニ ュ ー ス

イヤホーンソケット……2個（EL-213日立マグネチックイヤホーン使用）
アンテナ……フェライトアンテナ自蔵
8段伸縮ロッドアンテナ付
補助アンテナ線付属
寸法…幅140mm，高さ86mm，奥行35mm
重量……450g（電池とも）

第14図
ハイファイアンプ
A-1100

日立ハイファイアンプ A-1100

日立製作所ではこのほどステレオ用ハイファイアンプA-1100を発売した。これは現在発売中の日立グランドホニックPFG-1100シリーズで，最も手軽にステレオレコード演奏が楽しめるように特に設計されたステレオ用の追加アンプである。

回路構成は，プリアンプ，メインアンプ，および電源部からなっており，出力は無ひずみで8W，最大10Wの高性能形である。またステレオ追加用のほかラジオチューナ，テープレコーダ，マイクロホン，テレビの音声などもハイファイで再生することができる予備入力端子つきで，普通のアンプと同様単独使用もできる。

セット外観は，日立グランドホニック用のAM-FMラジオつきアンプAF-1100と同じく，ウォルナット塗装を施した高級木製キャビネットで大きさも同一になっている。セット前面には低音，高音，音量の三つの各調節つまみがついており，電源スイッチ，電蓄，予備，入力回路の各切換えは，パイロットランプつきのプッシュボタンシステムを採用している。また低音，高音それぞれの音質がひと目でわかるように，縦行ダイヤル式のトーンインジケーターつきである。

価格は現金正価15,000円　月賦正価16,100円（12箇月月賦）である。

編集後記

電力の急激な需要増加に応じて火力発電プラントの単機容量は次第に大形化しつつあり，125MWプラント用機器および175MWプラント用機器があいついで完成し，斯界の注目を浴びている。東京電力株式会社納品川発電所用125,000kW再熱タービンおよび160,000kVAタービン発電機の2論文は，本誌Vol. 41 No. 4ですでに報告した430t/hボイラとあわせ，125MWプラント機器の詳細を示すもので，大容量プラントの設計，製作に傾注された技術の成果の詳報である。

◎

最近ますます大形化する重電機器の道路輸送にあたっては，従来180t積トレーラが最大で，ややもすると支障をきたしがちであったが，このほど国内の道路条件から見て限界と考えられる300t積トレーラが完成し，電源開発株式会社西東京変電所納312,000kVA変圧器の組立輸送に一大偉力を発揮した。「300t積トレーラ」はその構造の詳細についての報告で，この種大形トレーラの設計にあたり得るところ多き好資料である。

◎

トランスファ・マシンの形式の最も進歩したものと称せられるインデペンデント・ユニットマシン・システムは，各ステーション間に半加工品の貯蔵所を設け，各ステーションを完全に独立させ，それぞれ自主的に稼動させるものはある。したがって，ユニットマシンの工具の交換，故障，修理の際は当該ステーションの停止のみで他のステーションの自動運転にさまたげを生じないので稼動率の向上はもちろん，保守，管理が一段と容易になった。「インデペンデント・ユニットシステムによる，SR形シャフト・マシンについて」は，21ステーション，全長25mの大規模なシャフト生産用トランスファ・マシンの紹介で，今後のこの種トランスファ・マシンの発展に貢献するところ大であろう。

◎

巻頭を飾る一家一言には東洋工業株式会社松田社長より，国民車は一般大衆が時代の動きとともに自ら選ぶべきであると指摘され，国民車発展に対するはげしい熱情を吐露された玉稿をいただくことができた。御繁用中にもかかわらず本誌のため特に稿を寄せられた御厚意に，深く謝意を表する次第である。

◎

昭和34年度最終号の編集を終るにあたり，格別の御指導と御愛顧をいただいた読者諸兄に対し心から御礼申し上げるとともに，切に諸賢の御健康をお祈りする。

日立評論　第41巻　第12号
昭和34年12月20日印刷　昭和34年12月25日発行
（毎月1回25日発行）
<禁無断転載>
定価　1部　100円（送料12円）
© 1959 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人　長谷川俊雄
印刷人　浅野浩
印刷所　株式会社日立印刷所
発行所　日立評論社
東京都千代田区丸ノ内1丁目4番地
電話 千代田（27）0111. 0211. 0311
振替口座　東京71824番
取次店　株式会社オーム社書店
東京都千代田区神田錦町3丁目1番地
振替口座　東京20018番

広告取扱店　広和堂　東京都中央区銀座西八ノ三小鍛治ビル五階一号　電話銀座（57）6836番